

『みんなで食べよう』 3歳児 10月 伏見こども園

エピソード

園庭の遊びの場の近くにあった石を拾って金網の上にのせていたAくん。Bくんは湿った砂をお玉ですくってのせています。Aくん「これ焼いてるねん」、Bくん「見て見て」と、近くにいた保育者に嬉しそうに伝えます。保育者「何を焼いているの?」と尋ねると、Bくん「これ、マシュマロやねん」と話し、2人は石や砂を少しずつ金網の上にのせていきます。そこへCちゃんが来て、「おいしくなるように塩もかけるねん」と、小さな石を先程から焼いていた石や砂の上にふりかけます。Cちゃん「団子も焼きたい」と、今度は計量スプーンで泥をすくって金網の上にのせます。Aくんも同じようにスプーンで砂を繰り返しのせていきます。Bくん「焼けてきたで」、Aくん「先生も一緒に食べよう」と保育者を誘い、一緒に金網を囲むと、Aくん「みんなで食べよう」と声を掛けました。保育者「いい匂いがしてきた。おいしそうだね」と石を手にとったり、砂をスコップすくったりして食べ、「焼けていておいしいわ」と声を掛けると、3人は顔を見合わせ嬉しそうにしていました。

子どもの育ちや学び

焼いてるねん (楽しさ)



これ、マシュマロやねん (楽しさ)

- ・金網の上で焼くという経験を遊びに取り入れる。
 - ・石や砂を食べ物に見立てる。
- (生活経験)

おいしくなるように
塩もかけるねん
(興味・意欲)



団子も焼きたい (意欲)

- ・焼きたい食べ物をイメージしながら遊ぶ。
- ・食べ物(マシュマロ・塩・団子)の大きさや形に合った自然物を取り入れたり、道具を選んで使ったりする。

一緒に食べよう
(楽しさ・嬉しさ)



みんなで食べよう
(楽しさ・嬉しさ・喜び)

- ・友達や保育者と金網を囲うことで雰囲気や空間を共有する。
- ・友達や保育者と簡単なやりとりをする。

保育者の思い

- ・保育室でかごを裏返して金網に見立て、その上にブロックや素材でつくった月見団子の飾りをのせて遊ぶ姿がありました。戸外でも見立てたり、焼いたりして遊べたらいいなと思い、金網を用意しました。
- ・Aくん「これ焼いてるねん」、Bくん「見て見て」と嬉しそうに伝える姿があったため、子どもの思いやイメージを聞いて受けとめたいと思い、「何を焼いているの?」と尋ねました。
- ・Aくんの「先生も一緒に食べよう」や、「みんなで食べよう」という声を聞き、保育者や友達と一緒に遊びを楽しみたいという思いを感じました。保育者も子ども達と一緒に金網を囲むことで楽しい雰囲気をとともに味わおうと思いました。また、より楽しさや嬉しさを感じてほしいと、食べる真似をしたり、「おいしいわ」と声を掛けたりしました。
- ・自分のしたい遊びを楽しんだり、保育者との関わりを求めたりしていることが多かったが、少しずつ友達と関わることを楽しむ姿が見られるようになり成長を感じています。

家庭だったら・・・

生活の中で経験したことを遊びに取り入れたり、友達や保育者と一緒に過ごす楽しさや嬉しさを感じたりする姿が増えてきています。お家の方も子どもと一緒に遊び、楽しんでみてください。